

SETOGIWA TIMES

発行所：行政書士塩見事務所 E-mail: info@setogiwa.com Web: www.setogiwa.com
 大阪市中央区谷町 2-5-4 702 号 Tel: 06-6946-9505

①なぜ、虐待？

戦前から戦後にかけて、「やいと（お灸）」を据えるのはしつけの一環でした。子どもは親の言うことをきかないと「やいと」を据えられたものです。熱くてたまらないのに「もうしません」と何回も言わされ、やっと許されるのです。

煙草の火によるやけどが身体的虐待となる現在、「やいと」は果たしてしつけと認められるでしょうか？最近は舅・姑との同居が少なくなりましたが、昔は「嫁いびり」もしつけのうちとされ、舅・姑に罪の意識はありませんでした。

一般に虐待をする親は自分が虐待をしていると認めません。平成 17 年 12 月の東京都福祉保険局の実態調査によりますと、虐待を行った保護者等の認識は「虐待行為そのものを認めない」・「行為は認めるが言い逃れ等をする」・「行為は認めるがしつけと主張する」が多く、中でも「しつけと主張する」が多いとのこと。毎日のように報道される新たな児童虐待事件でも、進行中の虐待事件の裁判でも、「しつけだった」という虐待者の発言が繰り返されています。

虐待の報道に接して、多くの人たちは「理解できない」と言いますが、そう言う人たち自身も自覚のないまま虐待に近いことをしているかもしれません。



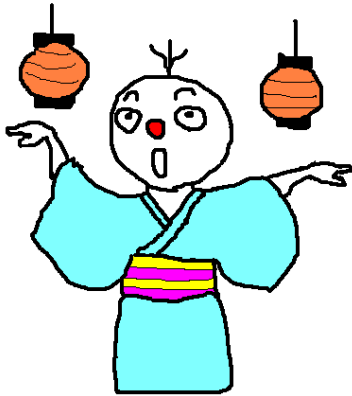
- ⊖イライラして子どもに向かって乱暴な口を利いた
- ⊖子どもに皮肉や嫌味を言った
- ⊖子どもの意見を一方的に封じた、又は無視した
- ⊖きょうだい同士を比較して特定の子をほめた
- ⊖確かめもせずに犯人扱いにした・・・

いかがですか？覚えがない、という人はまれでしょう。これらの行動が悪意をもって日常的に繰り返されると、心理的虐待と呼ばれることになります。

「あんなことをしなければよかった」と反省し繰り返すまいと思うから、虐待にはならないのです。

① 思い通りにならない子ども

「朝は時間がないから早くしてって、いつも言ってるでしょう！」
これは子どもを叱る時の決まり文句のひとつです。



「早く！」と言っても子どもは思い通りには動いてくれません。子どもを育てている保護者は、時間的・精神的にゆとりがないなどその時々状況によって普段は何とも思わない子どもの反応にいら立つときがあります。「相手は子どもなのだからこっちの事をすぐには理解できないのだ」と自らに言い聞かせ辛抱強く子どもに向き合うことができれば、子どもを叱ることはあっても虐待にまでは至らないはずです。

「私を2歳の子どものと思って説明してください。」
映画“フィラデルフィア”の弁護士役、デンゼル・ワシントンの名セリフです。

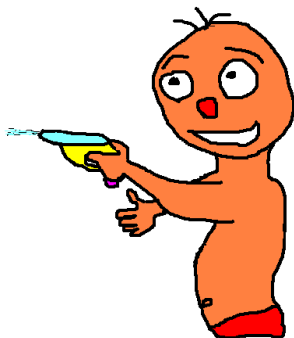
① 親の不安定さが子どもの虐待を生む

両親が不安定な状態（経済的事情、夫婦間不和、非協力的態度）にあると、そのストレスはより弱いものへの攻撃（虐待）となって現れることがあります。

ひとり親家庭で親族・近隣から孤立している場合には身近に相談相手がいなくて育児疲れが解消できず、そのしわよせが子どもに向かうことがあります。

また、離婚・結婚を繰り返す親はパートナーとの関係を優先するので子どもは邪魔ものになり、パートナーによる虐待があっても傍観するようになります。

他にも、精神的未熟（言うことを聞かない子の面倒は見ない）、独自の価値観（子どもは自分の所有物）、被害者的立場（子どもは自らが受けた仕打ちのはけ口）などが虐待を生むとされています。



虐待は今に始まったことではありません。シンデレラは継母とその子どもたちにいじめられたことになっていますが、一説によると「実母がいじめるといのは読者が納得せず、受け入れられない」というので継母という設定にしたとか。

ほかにもできます：相続・遺言/交通事故/告訴・被害届/パスポート手続

E-mail: info@setogiwa.com Web: www.setogiwa.com